Helte

分断のない活力のある社会を創る

Paving the way for a vibrant and harmonious future.

好奇心×知恵×異

「好奇心×知恵=〇〇〇」

あなたなら、ここにどんな解を入れますか。

大学時代のわたしにとって、その解は「放浪」でした。

二度の留学に加え、帰りそびれた旅人よろしく、30か国に及ぶ異郷を徘徊。異なる言葉、異なる考え、

異なる経験をしてきた人たちとの出会いは、実に刺激的でした。

異論、異彩、異形、異人、異文化、異次元、異性、異教徒、異業種……。

「異」なるものと接するとき、わたしたちは、得も言われぬ緊張感、開放感、

そして高揚感に包まれます。それゆえ、先の方程式「好奇心×知恵」に「×異」が

加わった時、その解は二次元から三次元へと、さらなる魅力をさく裂させるのでしょう。

このたびわたしたちHelteが立ち上げたビジネスは、まさに、「異」が起こす化学反応に着目したものです。



01 Company

会社概要

会社名 株式会社Helte

所在地 千葉県柏市東上町2-28第一水戸屋ビル3F

電話番号 050 3358 6892

資本金 5億円(資本準備金を含む)

業務内容 インターネットサービス「Sail」の運営業務

外国人材の紹介業

健康増進のための自治体向けサービス(自治体との連携事業)

AI解析を活用したヘルスケアサービス

代表取締役 後藤学

> 取締役 クロード・リエス (フランス国籍) 経営陣

> > 取締役 桂 小川 (中国国籍)

取締役 赤羽 雄二 取締役 奥山 孝也

顧問 岡田 隆太朗

広瀬 篁治

株主構成

後藤学

株式会社ボーンマーク Golden Mark Creation

株式会社カヤック

阪急阪神ホールディングス株式会社

イーピーエス株式会社

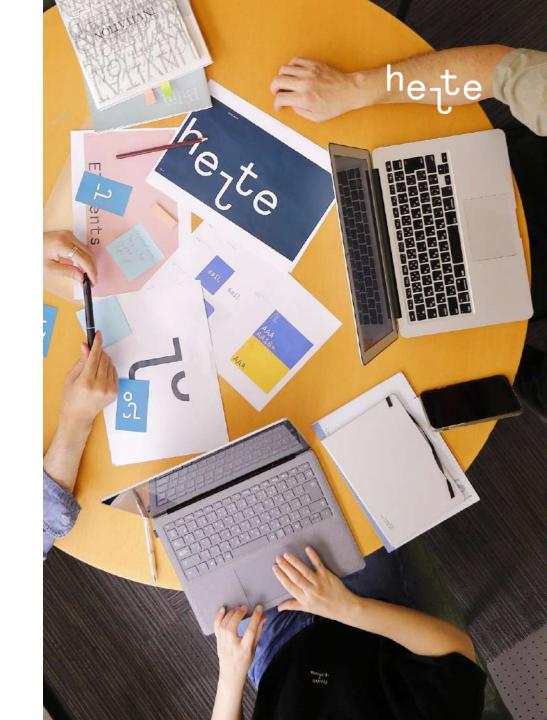
イーピーエス株式会社

株式会社ツナグ・グループ

ホールディングス

赤羽雄二

その他企業・個人投資家



目次

- 1. 会社概要
- 2. Sailの取り組み実績
- 3. 気づき



会社概要



日本というブランドを軸にした事業展開

ビジョン 分断のない活力のある社会を創る

課題 生産年齢人口減少による労働人口の不足

V

日本のシニアをエンパワメントし、日本の知られざる魅力を世界へ輸出。

ソリューション

隠れた日本の ブランド

Sail

シニアの活性化



海外からの新たな移住者を迎えることで、多様性に溢れ活力のある地域社会を創造し、 移住・就労時だけでなく、LTV(ライフタイムバリュー)による、新しい地域経済のキャッ シュポイントをつくる

データベース

地域モデル

データベースのBIGデータ活用と、地域モデルの横展開により、"収益性"と"社会性"を両輪とする持続的な事業を構築

日本の知られざる魅力を世界へ輸出

高齢社会先進国である日本のシニアをエンパワメントし、日本の知られざる魅力を世界へ輸出。



人々の知的好奇心・知恵を解放する デジタルプラットフォーム シニア層〜ミドル層を中心とした日本のオトナと世界中の日本のファン・日本語を学びたい世界の人が、オンラインでつながり日本語で25分間の会話できる日本語でのグローバル・コミュニケーション・アプリ

Sailの実績

[何]

Sailでの会話事例

今まで知らなかった事を知ることができ、 やりがいにつながっているという声は多い





- 外国人との会話アプリ<u>「Sail」での会話動画リンク</u>(クリックで動画を 視聴できます)
- 視聴できない場合は(<u>https://youtu.be/LJAYmsgTO1o</u>)
 こちらからご覧ください。



会話

鈴木さん(国内) 日本は昨日からまた寒くなりました~

郭さん(香港) あ~そうですか、香港も少し涼しくなりました、昨日より

鈴木さん 日本では伝統的なお正月料理、おせちというのを食べます

郭さん お弁当みたいですね

鈴木さん 重箱に詰めてあるんですよね

郭さん すごく豪華なお弁当みたい(笑)(香港では)金柑とみかん、そう

いうのも飾ります こんな感じです

鈴木さん うわー、すごいですねそれ

インタビュー

郭さん 自分は中国人ですけど、中国の文化や社会のいろんなことは実はそん なに詳しくないです。日本の方々の目を通して、自分が生活している環境

や文化の再認識が楽しいと思います。

鈴木さん コロナが終息して旅行したら一緒にゴルフをやりましょうとか、食事を一緒にしましょうとか、私が(旅行に)行ったら、観光の案内をしますよ…と

言ってくれる人もできました。私の人生にとっても非常に良い出会いに

なったなと思っております。



Sailの実績

5周年

自然流入のみで増加を続けている個人ユーザーを基盤に 様々な組織・団体と連携



参考:イギリス Sussex大学との共同研究についてhttps://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000012.000057665.html

親日的な外国人材の日本での採用

日本ファンの外国人材を更なる日本ファンへ、 労働人口解決だけでなく多様性のある社会を。

- Sailの交流により日本の文化を理解した外国人材を紹介することでミスマッチを軽減
- ・来日前から来日後の生活支援までワンストップでサポートする世話カツで企業の負担も軽減

雇用

日本の人からの

書類選考

応援コメント (推薦状)

会話相手の助言や推薦で求 職者の日本人からの信頼性 を確認できます。



Sailアプリでの 応援コメント 入力画面

会話レポート

求職者のsailでの交流の様 子を確認することで、日本 でのコミュニケーションス キルや人柄、人となりを面 談前に把握することができ ます。

> Sailでの 会話画面

(イメージ)

来日前後のライフサポート

来日前から来日後の生活支援までをワンス トップでサポート。企業の人事ご担当者様 の負担も軽減できます。

• 在留資格の取得手続き: • 銀行口座開設 航空券の手配、 不動産の契約 定着支援

クレジットカード加入 雷気ガス水道手続き スマホ端末/SIM手続き 病気や怪我の対応 その他生活サポート 全船

定着支援

2023年 始動!

地域コミュニティ

への参加



日本での就職や生活をサポート「世話カツ」

世話カツ sewa-katsu

世話カツの実績

毎月世界20ヶ国から、200人の

外国人材の就職/転職・

移住/定住をまるごとサポート

紹介事例

GRANVISTA

HOTELS & RESORTS

株式会社グランビスタ ホテル & リゾート

業種・職種

ホテル運営

所在地

東京都

従業員規模

1,500名

紹介実績のある 職種 •人事部

・フロント職

•調理士等

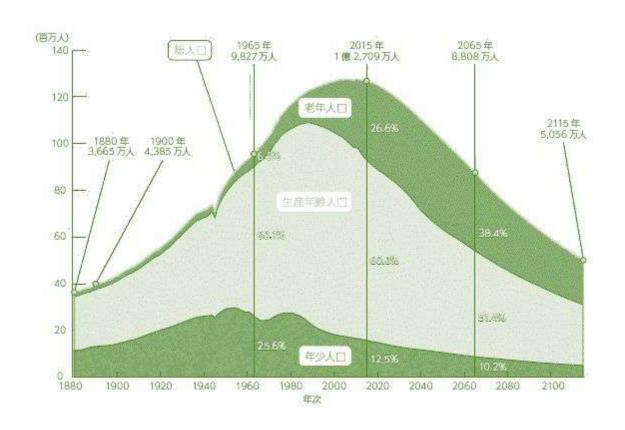


背景や課題

背景や課題

2025年問題

人口減少・高齢化と、外国人を受け入れることで起こる問題は同時に発生 急速な変化の中で、これらの課題に同時に対応できる手段を提供



heite

急激な高齢化

認知症

高齢者世帯

社会保障給付

労働力不足

高齢化の 課題 ・社 会 参 加・デジタルデバイド活 躍 の 場 づくり 生 きがい 創 出フレイル予防 認知症対策

人口減少の 課題 ・UIターン

- ・外国人材に
- 外国人材の活躍

選ばれる地域

国際化・ 多文化 共生の課題

- ・外国人住民の受け入れ体制
- グローカル人材の育成
- インバウンドニーズの把握



交流を軸に地域の課題解決をはかるHelteのアプローチ

高齢化の 課題

- オンラインで気軽にできる社会参加
- 経験や知識を世界中の日本ファンに伝えることで 貢献

人口減少の 課題

国際化・ 多文化 共生の課題 sail



- ・企業・地域の外国人の日本語での会話機会を創出。
- ・さらに地域の日本人の外国人許容度がアップ。



体験•説明会

オンラインコミュニティ

人生100年時代セミナー



世話カッ

インターンシッププログラム企画・運営サポート

外国人材活躍セミナー企画・運営

外国人社員と日本人社員の対話のワークショップ

やさしい日本語ワークショップ

日本語が話せる外国人とディスカッション

地域住民と行政職員で行うインバウンドワークショップ



生産年齢人口の減少や労働人口の不足問題

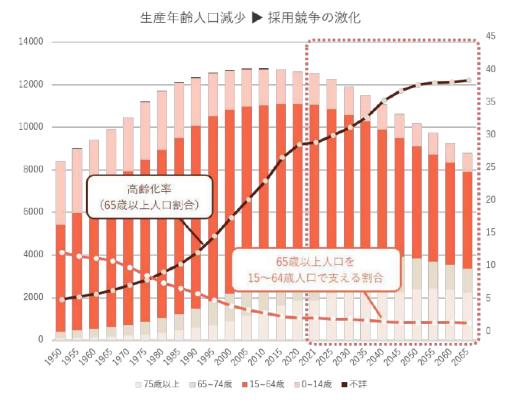




人口減と高齢化進行に伴い、 人手不足が深刻化



外国人材を受け入れ、 日本経済を加速させる(^{政府主導の})



(出典) 内閣官房 成長戦略会議事務局資料(令和5年) (出典) 内閣府(2022)「令和4年版高齢社会白書」

政府による外国人材を活用した成長戦略と「世話カツ」が連動

政府による成長戦略

- プラットフォームの構築 JETROの「高度外国人材活躍プラット フォーム」
- ビジネス日本語教育プログラムの充実
- 入国・在留管理制度の改善





世話

カツ

sewakatsu

- ・質を重視した職業紹介事業
- ・来日前後の手続きから定着 化のための生活サポート

制度改正

- 2023年4月以降の高度外国人材受け入れ環境整備 受け入れに係る新たな制度「J-Skip」「J-Find」
- **外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策** 217施策を策定(法務省)
- 「特定技能」制度の見直し
- ◀ 人手不足が深刻な業界で外国人の無期限就労が可能となる
 - 「技能実習」制度の見直し 「国際貢献」から「労働力確保」と「人材育成」を両立さ せる制度へ変更。

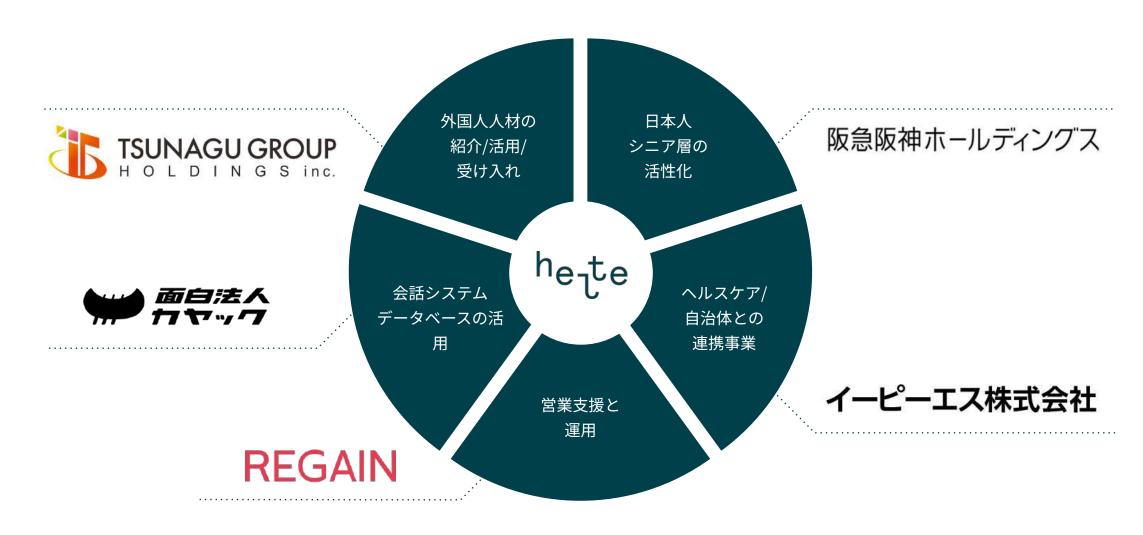
独自の採用判定基準



Sailでの会話データと外国語の運用 能力判断基準「CEFR」を基盤にした 認証チャートを構築

heite

出資企業について



Sailの取り組み実績



自治体/企業との連携実績:神奈川県藤沢市

個別協定:ICT普及啓発と新たなコミュニケーション機会の創出

Sailによる1対1のオンライン交流

【カナフルTV】

2022年4月3日 新年度スタート!

一歩踏み出して友達づくり

https://youtu.be/sMjLqkxjOBY?t=678

[NHK World]

※動画の冒頭が藤沢市の日本の人の会話です。 https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/tv/rising/20221123/2042132/





【Sailを利用した交流数(会話数)】

協定を締結後「広報ふじさわ」でオンライン説明会を案内し、149名の方がSailに登録。その登録者(Sailer)交流数の合計は、毎月約400~500回にもなる。

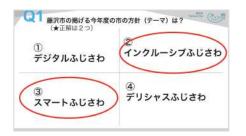
Sailユーザーと市役所職員が参加するコミュニティ

【プログラム】

- Sailの体験共有
- 藤沢市クイズ
- 放課後タイム







Sailで世界中の「日本ファン」経験を伝えることで感謝され、生きがいにつながる。 Sailコミュニティで新たな繋がりができ活力向上、さらに市職員との交流によりシビックプライド向上。

引用:2021年8月13日 プレスリリースよりhttps://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000057665.html

Sailの取り組み実績

heite

自治体/企業との連携実績:神奈川県藤沢市

個別協定:ICT普及啓発と新たなコミュニケーション機会の創出

Sailコミュニティとして地域共生につながる活動へ参加

ふじさわ国際交流フェスティバル

- ふじさわ国際交流フェスティバルの「藤沢市地域共生社会推進室」ブースで、日本語で世界の人と交流できる「Sail」の体験ブースを出展させていただきました。
- 2022年は14名、2023年は7名の藤沢市Sailer が応援に駆けつけてくれました。





ブースには、Sailを使う藤沢市の日本人およびペルー、ミャンマー、ベトナム出身の方が参加した。 Sailコミュニティとして地域共生社会推進に関わる活動が実施できた。

@Helte2023



自治体/企業との連携実績:高知県日高村

包括連携協定

スマホ教室と連携した、スマホ利活用促進

【テレビ高知】

スマホで世界はこんなに広がる https://newsdig.tbs.co.jp/articles/kutv/280084?display=1



- スマートフォンの普及率100%を目指す高知県日高村で、オンライン会話の体験会を開催、日常的にスマホを利活用していただくためのエンタメとしてSailを提案
- Sailを共通の話題とした新しいコミュニティの創出、茶話会形式でSailのこと、スマホのこと、なんでも話せる場を作ることを意識
- オンラインコミュニケーションのスキル向上のための講座形式でも実施





スマホの基礎を学んだ方への次のステップとしてエンタメ要素を提案 スキルの習得スピードは個人差があるため、講座形式だけでなく、茶話会(コミュニティ)形式でなんでも話せる場も創出

参考:PRTIMES「村まるごとデジタル化事業 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000030.000033931.html

気づき

気づき

hete

- 1. Sailで世界が広がり活力が増す
 - a. 日本が大好きで日本語を勉強している世界の人との交流で刺激を受ける
 - b. 自身の経験を日本語で伝えることで感謝され、生きがいやりがいにつながる
 - c. 自分が住んでいる地域や世界について視野が広がり学びのきっかけになる
- 2. Sailコミュニティとして新たな集まりを作ることが可能
 - a. Sailを新しい日常の楽しみとし、Sailの情報交換をすることにニーズがある
 - b. 新しい取り組みだから、今までの関係性とは違った新しい繋がりができる
- 3. 地域活動に接続できる可能性
 - a. 地域や世界に目が向いていて、共通の興味関心を持つコミュニティが成熟する**と**ailコミュニティにとどまらず、地域の活動と接続できる可能性がある。

きっかけはなんでも良いかもしれません。

ツールの一つとしてSailが地域に広がることで新しいコミュニティを作ることができ、様々な団体や企業と共同した社会課題解決に繋げられるのでは、と考えています。